

展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
保育・教育内容や活動、施設の充実	保育内容の充実(保育所)	各種保育事業内容の継続 (平成18年度 同)
	家庭支援推進保育事業の実施	2保育所に各1人担当保育士配置 (平成18年度 同)
	保育所園庭の芝生化の検討	草内保育所で一部継続実施中。(平成18年度 同)
	特色ある園づくり (幼稚園:体験活動等を生かした活動や幼児の特性や発達に応じた指導方法の工夫)	同志社大学のサッカー部、馬術部等との交流とともに、大学から講師を招いて親子での体を使った遊びを研修した。(平成18年度 同志社大学のサッカー部、馬術部等との交流等実施した。)
	保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善	平成16年～17年の耐震調査の結果をふまえ、各学校の耐震化の工事を順次実施。平成19年度は大住中学校、田辺東小学校の休憩室、便所棟等から実施。(老朽化に伴う修繕) 1 幼稚園 田辺、田辺東、薪、松井ヶ丘幼稚園の保育室改修、床張り替え、壁モルタル工事などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。(老朽化に伴う修繕) (三山木保育所) 遊戯室壁改修工事・保育室壁改修工事・床下換気扇設置・床改修工事 (草内保育所) 遊戯室用物入れ床改修工事・砂場整備工事(老朽化に伴う修繕)
意見発表等の機会の充実	「子どもの主張大会」の実施	()は平成18年度 平成19年11月3日 子どもの主張大会 発表者 13人(13人)作文応募者715人(1,158人) 参加者 300人(150人)

学力の充実・向上 と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善)() ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助)	平成19年度には、三山木小、田辺東小及び松井ヶ丘小が新たに指定校となり、小学校9校全校が実践した。(平成18年度 田辺小、草内小) 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施、登録者52人。総合的な学習の時間等で地域の人材を活用 小学校3～6年生児童1名500円、1学級5,000円を配分。中学校生徒1名500円、1学級10,000円を配分 (平成18年度 同)
	進路指導の充実 ・職場体験学習	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。(平成18年度 同)
社会の変化に対応する教育の推進	国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	英語指導助手を3名採用し、中学校において英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への協力などのほか月曜日から金曜日に中学校の巡回指導を行った。また、市立小学校、幼稚園において、英語活動等行うことにより、児童・園児との交流を図った。(平成18年度 中学校で英語授業の補助、小学校・幼稚園で英語活動実施)
	情報教育の充実 () ・コンピュータ等の機器の充実	教員の活用が増えるとともに生徒への活用も広がりつつある。しかし、京田辺市では小学校ではコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクターを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが、接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり、児童生徒の学力の向上につながる。また、小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレット・DVD・スピーカ等を3校に設置 各校2台のプロジェクタに加え、貸出用に10台を備え活用している。(平成18年度 同)
	情報教育の充実 () ・コーディネータ・ネットワーク、ソフト管理配置事業 ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学級プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。・情報教育コーディネーター派遣 情報モラルとセキュリティ、情報機器の活用に関する講座の開催 (平成18年度 同)

生きる力

文部科学省の中央教育審議会では、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力、自らを律しつつ、他人と協調し他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力をさしている。

展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 区域担当委員117名(H19より121人)、主任児童委員8名(H19より10人)への活動費の助成	子育てにかかわる環境において、相談支援を行っている委員活動に対して、様々な支援を行うとともに、円滑な民生委員活動ができるよう助成し、補助金を支出した。(平成18年度 同)
児童福祉施設等における相談の実施	保育所における育児相談 (来所、電話、園庭開放)	電話 56件(平成18年度 28件) 来所 666件(平成18年度 518件)
	児童館における育児相談、発達相談	保護者からの相談件数 178件(平成18年度 140件) 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含まれていない。
	家庭児童相談室での相談 (来庁、電話)	相談延べ件数 656件(平成18年度 638件)
	地域子育て支援センターにおける子育て相談 (来所、電話)	(再掲1-(2)-)
	相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たっての関係部署等との連携強化等	家庭児童相談員その他、母子保健関係保健師の研修への参加 要保護児童対策地域協議会を設置。代表者会議・実務者会議開催 関係機関との連携の強化 (平成18年度 同)

学校等における相談体制の充実	幼稚園での子育て相談事業	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。（平成18年度 同）
	小中学校での教育相談	カウンセラ - が小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 87回開催(平成18年度 87回)、取扱件数 359件(平成18年度 279件) ・中学校(府事業) 取扱件数 94件(平成18年度 105)、相談人数 延べ605人(平成18年度 560人)

展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
子どもへの相談支援	児童館における相談 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け)	随時、相談を受付している。 日常会話の中で相談となるため、件数のカウントはしてない。(平成18年度 同)
	小中学校でのカウンセラーによる教育相談	(再掲2-(1)-)
	適応指導教室(ポットラック)の充実	教室を1か所に統合し、開設時間と指導体制の充実強化を図ることにより不登校児童・生徒の学校復帰や進学への支援、保護者への相談体制の充実を図った。 開催 196回、参加人数 延べ646名 (平成18年度 3箇所 225回 453人)

展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
教育活動の充実	指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導	小学校1年生に学級運営支援員を配置した(大住小、薪小)。(平成18年度 田辺東小)
	職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	京都府保育協会研修25人、他の研修15人、初任者については、年3回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の教員対象には年3回研修会を開催し、更に年2回幼稚園での保育実習参観を行い、意見交換を図った。(平成18年度 同)
幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	児童、保護者、教職員の交流の推進 ・運動会への招待 ・児童の交流	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。 交流給食や合同の文化鑑賞会、運動会などの幼小連携事業を実施した。(平成18年度 同)
小・中学校の連携強化	小・中学校の連携強化 ・小中合同研修(授業参観、授業の指導方法の研究等)	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年 (平成18年度 同)

各種スポーツ教室・大会の開催	少年スポーツ教室	9校(同) 延べ50回(平成18年度 50回) 参加者数 426人(平成18年度 318人)
	市民マラソン大会	10月21日 参加者数348人(平成18年度 384人)
	市民駅伝競走大会	2月17日 参加者数 38チーム(平成18年度 41チ - ム) 410人(平成18年度 299人)
	綴喜陸上競技会	7月8日 参加者数 384人(平成18年度 375人)
	水泳教室 ・幼児水泳教室 ・小学生水泳教室 ・障害児水泳教室	・幼児水泳 2教室×3期×8回 参加者 248人(平成18年度 235人) ・小学生水泳 2教室×3期×8回 参加者 316人(平成18年度 313人) ・障害者水泳 1教室×3期×8回 参加者 32人(平成18年度 28人)
	水泳記録会	9月2日 参加者数 150人(平成18年度 179人)
	親子体操教室	2月26日～3月26日までの間 毎週月曜日(5回) 5回×86人(43組親子) 参加者数 430人(平成18年度 60人 30組親子 300人)
	少年交流大会	12月1日 33チーム(平成18年度 30チ - ム) 参加者数 212人(平成18年度 193人)
	市ハンドボール大会	6月9日～10日 55チーム(平成18年度 45チ - ム) 408人(平成18年度 430人)
	小学生ハンドボール交流大会	2月23日 67チーム(平成18年度 65チ - ム) 581人(平成18年度 558人)
スポーツ交流事業	生涯スポーツフェスティバル	参加者数 親子体操250人 スポーツ体験1500人 (平成18年度 約3000人)
	市民プール無料開放	「こどもの日」5月5日 307人(平成18年度 228人)
スポーツリーダー	スポーツリーダーの養成	12月10日 22人(平成18年度 112人)

の養成	水泳指導者研修会	6月30日 50人(平成18年度 49人)
地元組織によるスポーツの推進	地域スポーツ大会	春季 6月24日 5地域 参加者 3,119人(平成18年度 5地域 2,926人) 秋季11月25日 5地域 参加者 1,062人(平成18年度 5地域 1,093人)
	地域ボウリング大会	2地域 参加者 115人(平成18年度 3地域 参加者 172人)
	球技大会	秋季地域スポーツ大会に移行
	地域運動会	23区・自治会 参加者数 約 5,800人(平成18年度ほぼ同じ)
	地域ゲートボール大会	(平成18年度 120人)
	地域グラウンドゴルフ大会	2地域 参加者数 120人(平成18年度無)
青少年関係団体の育成・支援	各種団体の育成・支援 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 ・京田辺市スポーツ少年団	京田辺市青少年問題連絡協議会 7月29日 キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み期間中 青少年の生活環境調査及び地域パトロール 青少年生活環境マップ啓発チラシの配布(市民文化祭 小中学校全校生徒) (平成18年度同)

展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
自然の中での体験学習の充実	野外活動のつどい	10月14日 参加者 324人(平成18年度 212人)
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放	5月20日 参加者 295人(平成18年度 260人)
	土曜わくわく体験教室	全 39回 1629人 (平成18年度 38回 1,607人)
ふるさと体験学習の推進	ふるさと体験学習 (小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3~4回の体験活動の機会を提供)	9地域委員会 合計65事業(平成18年度 72事業) 参加者総数 9,933人(平成18年度 10,096人)
図書館事業の推進	夏休み子どもフェスティバル (手づくり会、人形劇、映画会等)	()は平成18年度 中央 人形劇・約180人(約150人)映画会・118人(約140人)ヨーヨーつり・約280人(約350人) 北部分室 人形劇・126人(約70人) 手づくり会・約50人(約100人) ヨーヨーつり・約200人 中部分室 人形劇・約120人(約120人) 手づくり会・約250人(約110人)
	おはなし会 (おはなしや絵本の読み聞かせ等の体験を通じて本に親しむ)	()は平成18年度 中央館 63回・1,434人(61回・約1,530人) 北部分室 61回・ 943人(64回・約1,000人) 中部分室 29回・ 473人(28回・約480人)
	移動図書館事業	市内18箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 18ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回(平成18年度同じ)

国際交流の推進	<p>青少年文化交流事業 (市内幼稚園児・小学生と英ウィラル市の児童生徒との絵画・手紙等の交換による交流)</p>	<p>()は平成18年度 絵画・手紙交換交流事業 ・京田辺市 参加児童数 548人(462人) ・ウィラル市(イギリス) 参加児童数 355人(356人)</p>
	<p>独チュービンゲン大学同志社日本語センター生との友好交流事業 (学生の小学校訪問(授業参観等)による小学生との交流)</p>	<p>留学生が小学校を訪問 6月 草内小学校 参加留学生 10人 ・ 12月 松井ヶ丘小学校 参加留学生 20人 (平成18年度 6月 松井ヶ丘小学校 参加留学生 14人 ・ 12月 大住小学校 参加留学生 16人)</p>
	<p>子どもたちと在住外国人との交流(市こどもまつり等)</p>	
きょうたなべ子ども会議の開催	<p>きょうたなべ子ども会議の開催() (未来を担う子どもたちに京田辺市のまちづくりを考えてもらい、市政への参加と理解を促進する機会とする)</p>	<p>()は平成18年度 平成20年2月8日 参加者55人草内小学校6年生全児童(参加者52人薪小学校6年生全児童)草内小学校6年生の6分野7つのチーム(4分野7つのチーム)が、その研究成果を発表し市長に提言するとともに、市長・教育長との意見交換を行った。 目標年1回開催 きょうたなべ子ども会議を開催して、子どもたちのまちづくりに対する関心が44%から96%に上昇した。</p>

展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
児童館事業の推進	なかよしクラブ (各児童館:小・中・高校生対象)	延べ利用者数 10,021人(平成18年度 8,894人)
豊かな人間性を育む教育の推進	適応指導教室(ポットラック)の充実	(再掲2-(1)-)
子どもの居場所づくりの推進	子どもの居場所づくりの推進() (子どもたちが自由に過ごせる場の確保と様々な事業や体験ができるような機会、人材の提供)	()は平成18年度 二又区、新興戸自治会、山手東自治連合会、一休ヶ丘自治会の4分館公民館で実施 (東区、高船区、山手南自治会、田辺団地連合自治会、普賢寺区、打田区、山崎区、田辺区の8分館公民館で実施

展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
各種手当の支給による支援	児童手当	()は平成18年度 支払い児童延べ 72,850人(68,060人) 総額468,940,000円(379,285,000円) 児童数 6,329人(6,156人) 受給者数 3,826人(3,744人) 平成18年19年度制度改正有り
	児童扶養手当	受給者数 363人(平成18年度369人) 支払額 173,796千円(平成18年度169,782千円)
	母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務)	申請者数 419人(平成18年度404人)
	交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布)	申請者数 2人(児童数 3人) (平成18年度同じ)
	市特別児童福祉手当	()は平成18年度 受給者数 432人(430人)、児童数 626人(同)、支給総額 12,220千円(12,189千円)
	高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う。(生活保護受給者、母子父子市町村民税非課税世帯)	府制度による支援実施。公立以外の高校に進学する生活保護受給者について、奨学金による支援を行った。5人が受給。(平成18年度 9人)
	特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:進達事務)	83人(平成18年度 79人)

	市心身障害児童特別手当	98人(児童数103人 2,681千円) {平成18年度 86人(児童数92人)2,448千円}
	就職支度金 (中学校卒、高校退学・卒業者への就職支度金による要保護者への支援)	
保育、教育費用の負担軽減	保育所保育料の軽減 (生活保護世帯、母子父子家庭等)	生活保護世帯 17世帯(平成18年度 22世帯) 母子家庭世帯 58世帯(平成18年度 50世帯)
	幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	()は平成18年度 京田辺市在住の私立幼稚園保護者301人(297人)に対して保育料減免事業を行う私立幼稚園18園(20園)に補助を行った。実績21,448,500円(20,155,008円) 市立幼稚園在園児保護者延べ21人(18人)に対して合計657,000円(630,000円)の減免を行った。
	各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・学級費 ・就学援助費 ・特殊教育就学奨励費	()は平成18年度 市立小学校児童504人(464人)及び中学校生徒402人(413人)の保護者に対して修学旅行費の補助を行った。実績額小学校費3,528千円(3,248千円)、中学校費6,030千円(6,195千円) 小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,162千円(4,097千円)、中学校1,563千円(1,618千円)を各学校に配分した。・就学援助費 小学校 565人(519人) 30,608千円(27,367千円) 中学校 247人(201人) 9,967千円(8,034千円) ・特別支援教育就学奨励金 小学校 14人(11人) 424千円(327千円) 中学校 1人(6人) 14千円(220千円)
	留守家庭児童会保育料の減免 (生活保護世帯、要保護・準要保護世帯)	生活保護、要保護、準要保護及び前年分住民税が非課税の世帯の負担金を全額免除(平成18年度 同)
乳幼児医療費助成	就学前児童の医療費に係る一部負担金を助成	(再掲1-(1)-)
不妊治療費助成	不妊治療費助成事業	(再掲1-(1)-)